

らせ致します。例会時間の変更並に休会は次の如くです。札幌南R.C. 11月19日(月)午後5時30分。札幌東R.C. 11月22日(木)午後6時。札幌南R.C. 並に函館五稜郭R.C. 11月23日(金)は休会。先般倶野会員が水戸南R.C. を訪問され、バナーをいただいておりますので後程回覧致します。

●親睦活動委員会

★ニコニコボックス

吉井会員より今月第1回例会欠席申訳ないとの事で、山本会員よりクラブアッセンブリ欠席のお詫びとして。

●卓話 「ロータリー財団週間に因んで」 小畑バスターガバナー

一つのグループがあると常にその財政を考えねばならない。吾々ロータリアンは個人としては、それ程神経を使わないが、色々な会合を考えるとその経営に頭を使わざるを得ない。色々なプログラムを作る場合、その団体の活動を活発にするにはどうするか、従って財政をどうするかの問題がある。

ロータリー本部を訪ねて、歴大な機構が必要であり、しっかりした大きい建物が必要である事を観念的でなく、実際に知り得た。本部はシカゴから車で40分、静かな街の小高い所にたつ瀟洒な建物であり、なかに入ると吾々が想像し得ない程、応待が行届いている。向うから先に私の名前を述べ、よくいらっしやいましたと声をかけてくれる。アメリカ人が社交的である事によるが、お客や旅行者を気持よくしようとする心がまえをもっている。日本人が非社交的である事と比べて考えさせられる。オフィスの方に面会しても、こちらの名前を前もって覚えておく様に努力しており、よく世話をしてくれる。これだけのものを運営するのは大変な事と思う。R.I. 組織のメンバーが増加し、国も増加するに従い大きく複雑になっている事を、あの建物に入った時に感ずる。建物に入り色々な人に会い彼等の努力が並たいていない事を知る。

例えばR.I.B.I. 英国のロータリー組織が一時R.I. 組織の外ではないが、一つの大きいグループとしてかなり永い間R.I. として問題になった。この大きいグループの中に一寸血液の違ったものが入ると組織でも人事でも問題になる。日本で一時ガバナーが出た時オフィスが必要で作った所、又R.I.B.I. 組織みたいなものになると心配されたが、努力して心配のない事を示した。今日ではR.I. 一本でスムーズに動いている。R.I. 本部に入ってみて吾々が最善をつくして手伝わねばならないと痛感する程、彼等は努力している。アメリカは経済的にNo.1であり、彼等はこれを目覚し、努力して運営している。しかし今日では色々な変化が起り財政負担のかさなる事になり、精神的支助と共に財政的援助がR.I. の人に求められている。吾々はR.I. の動き、ひいては世界のロータリー活動に対する力添えが要求されている。実際にガバナーとして地方を廻ってみるとロータリー活動を世界組織に結びつけるのは困難な事であり、この頃の様には国際的变化があり、外国の戦いが直接吾々の生活にひびく事を思えば、国際活動を運営してゆく事は容易でない事が判る。特に財政的な面が重荷になる。精神的活動と同時に財政的なお手伝をする運動を強化する努力が必要と思う。毎年廻ってくるこの機会に改めてこの事を考え世界のロータリー運動と比較し乍ら努力する事が必要と思う。

●出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
48. 11. 14	55名	40名	15名		
48. 11. 7	55名	35名	20名	17名	
在函クラブ	(10/30) 函館東R.C. 97.96%	(11/1)	(11/2)	函館五稜郭R.C. 100%	

★第473回例会欠席者

遠藤・深瀬・大嶋・飯田・岩塚・成田・森(正)・杉本・野村・川筋・小笠原・佐々木・佐藤・渡部・平山(15名敬称略)

次回例会日 11月28日

プログラム「釣談義」松本 修会員

The Weekly Report of Hakodate North R.C.



事務所
函館市大手町5-10
日魯ビル 3階
☎(0138) 23-3870

例会場 函館市大手町5-10
国際ホテル ☎(0138)23-8751

例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

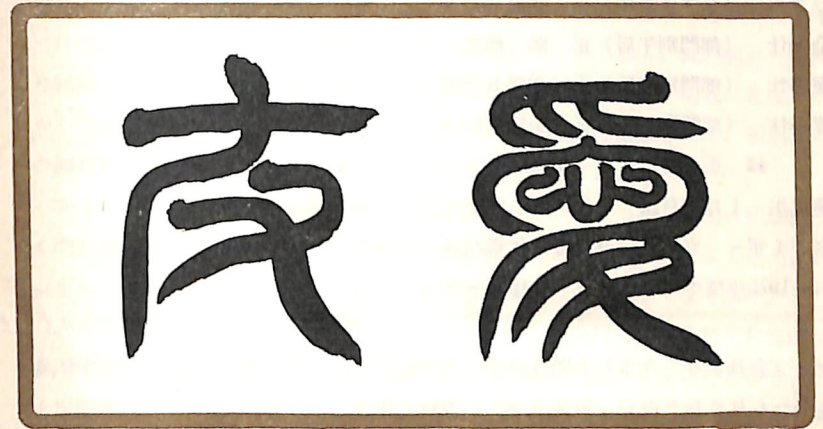
1973. 11. 28

1973~1974 第21号

第475回例会

‘A Time for Action’ 今こそ行動のとき

(William C. Carter R.I. 会長指針)



友愛 戸崎孝二 会員

本日のプログラム

「釣談義」松本 修会員

第474回例会記録

●司会 駒井 幸一 会長

●斉唱 手に手つないで

●ゲスト 秦 良平氏 函館R.C.

●ビジター 函館R.C. 池田 佑吉君 他6名

函館東R.C. 吉村 文治君 他4名

函館五稜郭R.C. 小川 享君

亀田R.C. 関根 縦為君

◎会長より1973～1974年度の第351地区第7分区 インターシティ・ゼネラル・フォーラム開催について

ホストクラブ 七飯ロータリークラブ

と き 昭和49年4月7日(日曜日)

登 録 9:30～10:00 開 会 10:00

と ころ 七飯町パークホテル

モデレーター及び副モデレーター

◎クラブ奉仕(全体午前中) 正 函館北R.C. 副 亀 田R.C. 森R.C.

◎社会奉仕(部門別午後) 正 函 館R.C. 副 江 差R.C.

◎職業奉仕(部門別午後) 正 函館五稜郭R.C. 副 松 前R.C.

◎国際奉仕(部門別午後) 正 函館東R.C. 副 長万部R.C.

◎記 録 正 各モデレーターのクラブ 副 七飯ホストクラブ

議題提出 1月末日迄 2月初旬 第7分区会長幹事会にて整理決定

◎アドバイザー ガバナー及び分区代理相談の上決定

◎1974～1975年度ホストクラブ 亀田ロータリークラブ

松前クラブ会長より 今年も本間会員令夫人の松前町への眼科無料診療をいただき、謝辞を伝えられましたので、当クラブより重ねて謝意を表します。

◎幹事報告

- 1、当クラブ10周年記念大会出席者写真及び岩見沢クラブより1973年度 第351地区年次大会出席クラブへのお礼の品配付について。
- 2、22日午後7時より、合同事務所に於て10周年編纂打合せのため会報委員会開催につき委員の出席をお願いします。
- 3、本例会後協議事項が有りますので全員出席下さい。

◎卓 話 「藤村と函館」 秦-良平氏

北クラブの皆さん今日は、函館クラブの秦でございます。当クラブの平野プログラム委員長の切望ことわりきれずに、下手な話でございますが、此の様な世情騒然物資不足など、いやな時代を忘れ、昔話にもどる事が精神的ストレス解消にもつながるのではないかと思います。古い時代の話を選んだ次第でございます。

只今会長さんより、ご紹介がご座居ましたが、島崎藤村の妻冬子は私の祖母の妹にあ

たるわけで、いかにして結婚する様になったかを申し上げるのでございますが、そもそも藤村と申す方は昭和18年に亡くなり没後30年、今年東京・大阪・名古屋・札幌などで記念展覧会を催うされたのですが、たまたま展覧会に手前共秦家の系図が展示され、私の名前が載って居るので色々の方より問合せがあるなどしましたもので、一応説明を兼ね話しておかねばならないと思い、この席に立った訳でございます。

明治から昭和にかけての文豪島崎藤村は信州木曾馬籠の人、家は代々庄屋・本陣・問屋を兼ねた旧家であったが、明治5年藤村誕生の頃は家も没落、明治14年上京し泰明小学校に入学、24年明治学院を卒業した。翌年明治女学校教師となったが生徒の佐藤輔子(佐藤昌介男爵の妹)との恋愛にやぶれ、関西放浪の旅に出る。此の頃から新体詩にとり組み、詩人としての地歩確立し、明治29年東北学院教師として仙台に赴任、明治30年から二年間に若菜集・一葉舟・夏草等の詩集が春陽堂から出版された。明治32年信州の小諸義塾教師となり、同年10月函館の人秦冬子と結婚した。

冬子は秦慶治の三女で明治11年の生れだから21才であったが、前出の佐藤輔子と同じく明治女学校出身で藤村の教え子であった。彼女は貪乏教師の夫によく任せ、四人の子女をもうけたが、明治43年死亡する。その以前藤村は詩人としてよりも小説家として立つ志を持つが、最初の作品を出版する費用がない。彼は明治37年7月津軽海峡を渡って妻の家函館を訪れる。舅慶治は豪腹の人で且つ藤村の将来を見抜いたのか、こころよく出版費用として当時の金で400円を与えた。藤村のろよこびは察するに余りある。

かくして世に出た最初の小説「破戒」は洛陽の紙価を高め、小説家藤村の名声は確立した。その後18年間彼は妻をめとらず、姪との恋愛事件を惹き起したり、その痛手を忘れる為にフランスに渡り、帰国後は子供の為の童話、長編小説、評論等多彩な作家活動に入る。昭和3年加藤静子と再婚。此の頃から函館の秦家とは疎遠になるが亡妻冬子の姉浅子のつれ合い卓三郎とは親交変らず、卓三郎が渡島当別に造成した庭園にその事蹟を称える一文を草し、之は慶谷小説の「花長者水にもとめる眺めかを」という句碑と共に上磯町当別に現存している。

私は卓三郎の孫で紙屋を継ぎ今日に至っているが、昭和14年夏、東京麹町下六番丁の邸に藤村を訪れ私の母の思い出を中心に時刻をこの文豪と語り合うことが出来たのは生涯の思い出である。

戦争たけなわの昭和18年遂に藤村は「東方の門」未完のまま世を去ったが、我が曾祖父秦慶治の援助によって一人の文豪が生まれ、その作品が国民の財産となっていることを薄いつながらながら誇りとし、よろこんでいる次第である。

★親愛なるロータリアン各位

青少年交換（ロータリーの最も成功した活動の一つ）は世界各国の地区内のクラブを参加させたプログラムです。或る若い交換学生はこのプログラムの真価について次のように証言しています。

「交換学生は10年間の大学生活でも習えないような事を学びます。彼には親善大使として、自国のために多くの友人を作る機会が、与えられているのです。今、私は、ここへ来たからこそ立派な市民となるためのよりよい準備が出来たと確信しています。そして私の人生のこの一年を無駄にしなかったと確信しています。私は人生より何を望むかについて自覚しつつ、又いずれの場所に於ても得られないような、人々また訪問先についての思い出に満たされて帰国いたします。」

各地区に於て、次学年度の青少年交換を効果的なものとするため、クラブが準備を整えられるには今が絶好の機会です。

★緊急援助の要請

インド3地区をおそった洪水による被害を救うため、Moradabad R.C. 会長のDr. R. D. Gupta が救援を訴えています。ロータリーを通じて寄付金を送りたいクラブは、国際ロータリー払いの小切手（目的を明示すること）をエバンストン市在の中央事務局へ送り、直ちにそのための送金を行うことができます。

Pakistan の広い地域が洪水に襲われました、義えん金品は元地区ガバナー Kasim - Dada, Shirin Manzil, Randal, Poad, P. O. Box 7429, Karachi 3, Pakistan が主催する「Pakistan Rotary Flood Relief Fund」委員会宛に直接送られても結構です。West Africa の Chad, Niger, Upper Volta, Mauritania, Senegal に発生した干ばつは何百万人の人々に飢餓をもたらしました。これに対する援助を希望するクラブは第210地区のガバナー Francois Amorin, Bp 50, Cotonou, Atlantique, Dahomey 宛に直接ご連絡下さい。

尚、上記地域への義えん金品は国際救済機関を通じて送られても結構です。

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
48. 11. 21	55名	41名	14名		
48. 11. 14	55名	40名	15名	12名	94.56%
在函クラブ	(11/6) 函館東R.C. 97.97%	(11/8) 函館R.C. 94.08%	(11/9) 函館五稜郭R.C. 100%		

★第474回例会欠席者

大嶋・飯田・岩塚・大井・杉本・森(正)・小村・成田・川筋・平野・戸栗・沢村・山内(文)・平山 (14名敬称略)

次回例会日 12月5日

プログラム「人権週間に因んで」 函館地裁判事 逢坂 芳雄氏

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所
函館市大手町5-10
日魯ビル 3階
☎ (0138) 23-3870



例会場 函館市大手町5-10
国際ホテル ☎ (0138) 23-8751
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

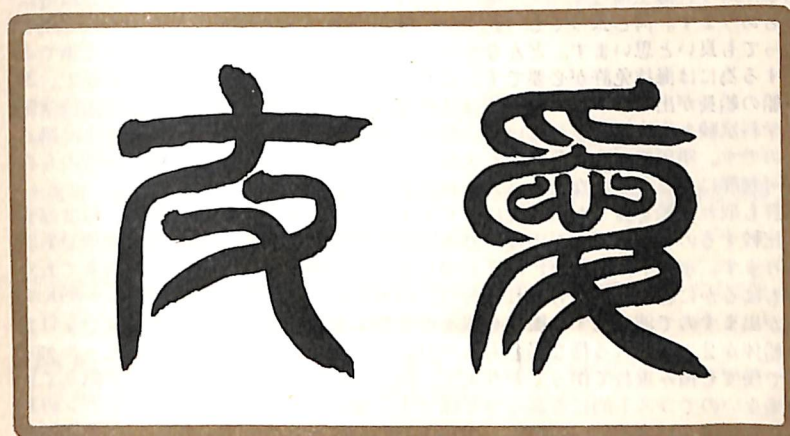
1973. 12. 5

1972~1973 第22号

第476回例会

‘A Time for Action’ 今こそ行動のとき

(William C. Carter R.I. 会長指針)



友愛、戸崎孝二会員

本日のプログラム

「人権週間に因んで」 函館地方裁判所判事 逢坂 芳雄氏

第475回例会記録

- ◎司会 青柳 喜一副会長
◎ビジター 室 蘭R.C. 富田 嘉市君 (水産物配布)
函館R.C. 石塚弥一郎君 他10名
函館東R.C. 島田 栄一君
函館五R.C. 五十嵐匡俊君
亀 田R.C. 桜井 清勝君
- ◎斉唱 それこそロータリー